

社会福祉法人平和と善 評議員・役員の報酬等及び費用弁償に関する規程

(目的)

第1条 この規程は、社会福祉法人平和と善（以下「本会」という。）の定款第8条、定款第21条に基づく評議員、役員の報酬等の基準、額及び費用弁償に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(意義)

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語意義は、当該各号の定めることによる。

- (1) 評議員とは、定款第5条によるものをいう。
- (2) 役員とは、定款第15条による理事及び監事をいう。
- (3) 常勤役員とは、前号の役員のうち、本会を主たる勤務場所とするものをいう。
- (4) 非常勤役員とは、第2号の役員のうち常勤役員以外の者をいう。
- (5) 報酬等とは、報酬、賞与その他の職務遂行の対価として受ける財産上の利益をいう。
- (6) 費用とは、職務の遂行に伴い発生する旅費（宿泊費を含む）等の経費をいう。

(報酬等の額)

第3条 評議員の報酬は日額とし、評議員会への出席の都度、定款第8条に定める金額の範囲内で、別表1に基づき支給する。ただし、国又は地方公共団体の職と兼職する評議員には、支給しない。

2 常勤役員に対しては、報酬、通勤手当及び期末手当を支給し、金額は次のとおりとする。ただし、本会の給与規則に基づき給与の支給を受ける役員には支給しない。

- (1) 報酬は、別表2に定める1人当たりの月額範囲とする。
- (2) 期末手当の額は、別表2に定める年額範囲とする。
- (3) 通勤手当の額は常勤職員給与規程第16条による。
- (4) 退職金について、評議員会が必要があると認めるときは、常勤役員になった時点で独立行政法人福祉医療機構と東京都社会福祉協議会の退職金制度に加入手続きを取り、その規約によって支給される。

3 非常勤役員の報酬は日額とし、理事会等本会業務への出席の都度、別表3に定める年度総額の範囲内で、同表に基づき支給する。ただし、国又は地方公共団体の職と兼職する非常勤役員には支給しない。

(報酬支払方法)

第4条 前条各号に規定する報酬、費用等は現金をもって本人に支給する。ただし、本人の指定する本人名義の金融機関口座に振り込むことができる。

(費用の弁償)

第5条 本会は第2条の第1号、第2号、第4条による評議員、役員等が、その職務を行うために要する費用を弁償する。

2 費用の弁償額は実費とする。

3 費用の弁償の請求があったときは、遅滞なく現金で支払うものとする。ただし、本人の指定する本人名義の金融機関口座に振り込むことができる。

(規程の改廃)

第6条 この規程の改廃は、評議員会の決議を経て行う。

(補則)

第7条 この規程の実施に関し必要な事項は、会長が別に定めるものとする。

附則 この規程は、平成29年4月1日より施行する。

別表1 評議員の報酬

役職	報酬日額(1人当たり)	年度総額(1人当たり)	年間総額(合計)
評議員	10,000円	70,000円	500,000円

別表2 常勤役員の報酬

役職	報酬月額(1人当たり)	期末手当年額(1人当たり)	年間総額(1人当たり)
役員(常勤)	300,000円	1,500,000円	5,100,000円

別表3 非常勤役員等の報酬

役職	報酬日額(1人当たり)	年度総額(一人当たり)	年間総額(合計)
理事(理事長以外)	10,000円	70,000円	500,000円
理事(理事長)	10,000円	500,000円	500,000円
監事	10,000円	150,000円	500,000円